

令和2年度の予算の概要

「多世代が豊かに暮らせるまちへ」

「まちとひとを結ぶ魅力ある令和スタートプランの実現」



一般会計

一般会計は、町が行う仕事の大部分を賄う予算で、町税や国・県からの支出金などを財源にしているもので、町民の皆さんに最も関わりの深い予算といえます。

特別会計

特別会計は、特定の財源で特定の事業を行うもので、土地取得特別会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、幸田駅前土地区画整理事業特別会計、農業集落排水事業特別会計があります。

公営企業会計

公営企業会計は、一つの会社のように独立採算制で事業・経理を行うものです。本町では、水道事業会計、下水道事業会計がこれに当たります。

3月町議会で可決された令和2年度当初予算について、その概要をお知らせします。
本年度は、「まちとひとを結ぶ 魅力ある令和スタートプランの実現」をキーワードに、昨年度に令和の新しい幕開けとともにスタートした本町の未来に繋がる新たな施策への取り組みをさらに推進し、すべての世代の町民の皆さんが、豊かに暮らすことができるまちの実現に向けた予算編成をしました。

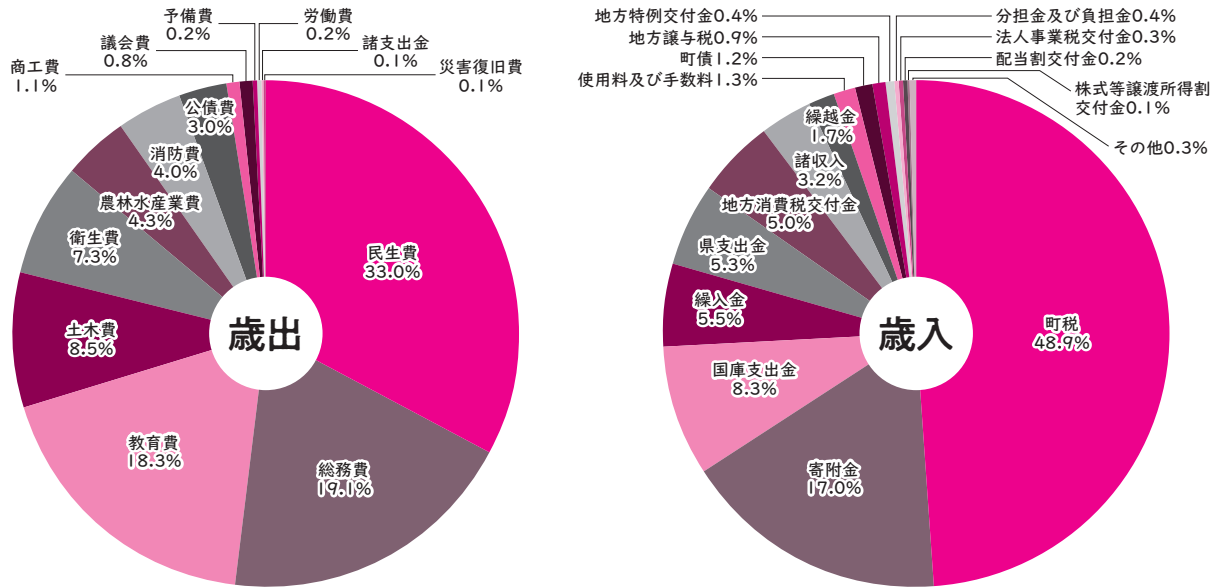
令和2年度当初予算

(▲減)

会計区分		令和2年度予算(千円)	令和元年度予算(千円)	伸び率(%)	
一	一般会計	17,660,000	16,460,000	7.3	
特別会計	土地取得特別会計	176,230	21,423	722.6	
	国民健康保険特別会計	3,170,373	3,297,792	▲ 3.9	
	後期高齢者医療特別会計	477,121	438,907	8.7	
	介護保険特別会計	2,124,281	2,003,468	6.0	
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	276,333	310,871	▲ 11.1	
	農業集落排水事業特別会計	379,959	365,583	3.9	
公営企業会計	水道事業会計	収益的支出	775,051	792,347	▲ 2.2
		資本的支出	418,460	331,339	26.3
	下水道事業会計	収益的支出	694,198	704,064	▲ 1.4
		資本的支出	421,716	460,235	▲ 8.4
合計		26,573,722	25,186,029	5.5	

歳入歳出予算総額176億6千万円

令和2年度幸田町一般会計予算歳入歳出款別構成比(%)



歳出

費目別に見ると、民生費が全体の33.0%を占め、次いで総務費19.1%、教育費18.3%となっています。民生費は、5月に開設するシニア・シルバー世代サポートセンター運営費用などの増により、対前年度約4億3千万円(7.9%増)の増加。総務費は、ふるさと寄附の返礼などに係る費用7億5千万円増など、対前年度約9億5千万円(39.1%増)の増加。教育費は、中央小学校増築工事や老朽化が進む各小中学校の修繕工事費などの増により、対前年度約5億7千万円増(21.3%増)となり、歳出全体では12億円増(7.3%増)の予算額となりました。

歳入

最も大きな割合を占めている町税は、対前年度比2.1%増の約86億3千万円(構成比48.9%)と増収を見込みました。財源不足を埋めるため基金(貯金)からは約9億8千万円の取り崩し(繰入金)を予定しています。また、近年歳入の大きな割合を占めている寄附金(ふるさと寄附金)は引き続き好調を見込み30億円(構成比17.0%)としました。借金である町債は建設事業に係る費用の補てんとして、約2億2千万円の借入を予定しています。令和2年度末の町債現在高は32億円と3億円の減少を見込んでいます。

主な区分の内容

歳入：1年間のすべての収入

- 【町税】 町民税、固定資産税、軽自動車税など町民の皆さんから納税されるお金
- 【国庫(県)支出金】 特定の事業の財源の一部として、国(県)から支出されるお金
- 【繰入金】 積立してある基金(貯金)から取り崩し、または特別会計から繰り入れられるお金
- 【町債】 大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金

歳出：1年間のすべての支出

- 【民生費】 子育て支援、お年寄りや障がい者などの福祉・医療などに使われるお金
- 【総務費】 町職員の給与や町の財産管理などに使われるお金
- 【教育費】 小・中学校、ハッピーネス・ヒル・幸田の運営や生涯学習講座などに使われるお金
- 【土木費】 道路、河川、公園などの整備や維持管理に使われるお金
- 【衛生費】 ごみ処理や健康推進に使われるお金
- 【公債費】 町債を返済するお金

令和スタートプランの推進

令和2年度予算では、昨年度に「令和」の新しい時代の幕開けとともにスタートした、本町の未来に繋がる5つの施策への取り組みをさらに推進していきます。

① 藤田医科大学岡崎医療センターへの交通手段の確保

藤田医科大学岡崎医療センター交通整備事業

事業費：1,300万円（企画政策課）

昨年度、岡崎市と共同で財政支援を行い、4月に開院の藤田医科大学岡崎医療センターへの交通手段の確保として移動手段を持たないシルバー世代に向け、相見駅からの直通タクシーの運行を社会実験としてスタート。藤田医科大学と福祉、医療、介護などさまざまな分野で連携し、地域包括ケアの構築も目指します。



↑藤田医科大学岡崎医療センター

② 三ヶ根まちづくりの検討

三ヶ根まちづくり推進事業

事業費：1,035万円（企業立地課）

三ヶ根駅のバリアフリー化にあわせて駅周辺の利便性の向上について地域住民と考える「三ヶ根駅未来会議」を昨年度からスタート。今年度は基本計画の検討を進めます。



↑三ヶ根駅エリア未来工房

③ まちの安全安心を24時間見守る体制づくり

テラス推進事業

事業費：1,417万円（防災安全課）

24時間まちの安全安心を見守る体制や地域防災力の向上を支援するための交流拠点として「安全テラスセンター24」の検討をスタート。令和3年度からの運用開始に向け、昨年度は基本方針の決定、今年度は具体的な取り組みについての検討・試行を進めます。



↑地区防災訓練の様子

④ シニア・シルバー世代サポートセンターの開設

サポートセンター管理運営事業

事業費：7,455万円（福祉課）

シニア・シルバー世代を対象に、いつまでもはつらつと人生を楽しむためのシニア・シルバー世代サポートセンターを5月からスタート。就労に繋がるセミナーの開催や起業サポート、活躍できる場の提供などを行い、就労機会や生きがいづくりの創出を図ります。



↑セミナーの様子

⑤ 菱池遊水地事業を中心とした治水対策の推進

河川改修事業

事業費：7,130万円（土木課）

長年の懸案であった菱池遊水地の整備が昨年度、県事業として始まりました。今年度は引き続き、凧揚げまつりの会場にもなっている予定地の用地買収を進めます。町事業としては、河川の浚渫（しゅんせつ堆積土砂の撤去）を進めるなどの治水対策を行います。



↑平成20年8月末豪雨で浸水した菱池遊水地事業地区

そのほかの主な取り組み



↑ホストタウン自治体等との交流会

東京2020オリンピック ホストタウン事業

事業費：1,000万円（企画政策課）

カリブ海に浮かぶ島国「ハイチ共和国」のホストタウンに登録。オリンピック閉会后にハイチ選手団を迎え、スポーツ・文化交流を行います。



↑幸田中央公園

幸田中央公園整備事業

業費：4,700万円（都市計画課）

さまざまなイベントで利用されている中央公園の利便性向上のためにカフェ設置や公園施設の整備を行います。令和4年春のカフェオープンを目指し今年度は造成工事を行います。



↑中央小学校

中央小学校整備事業

事業費：5億1,500万円（学校教育課）

幸田岩堀土地区画整理事業地内を中心とした住宅開発による児童及び教職員の増加に伴い、校舎の増築と既設校舎の改修工事を行い、学習環境の向上を図ります。